

この時期の発達過程

2歳近くになると、周りでもオムツが外れてパンツに移行したというお友達も始め、トイレトレーニングを意識される方もいらっしゃるかもしれません。トイレトレーニングの開始の目安やペースはお子さんそれぞれ。排尿する時間の間隔が開いたり、お子さんが尿意を覚えてくれるようになったりしたら、オムツはずしのチャンスかもしれません。排尿する時間が大体いつも決まっているなら、排尿前にトイレに座らせてあげると成功することも多いようです。例えば失敗しても怒らず、焦らず、お子さんにとってもママにとってもストレスのないように進めていけるといいですね。言葉もますます増え、それまでタンクの中に溜めこんでいた言葉がドバッと溢れ出す、単語の爆発が始まったお子さんもいらっしゃるかもしれません。まだ言葉が増えないというお子さんも、きっと今頃タンクの中にたくさんの言葉が溜まってきています。そのうちドバッと溢れ出す時期が来ますので、引き続きたくさんの言葉のシャワーを語りかけてあげましょう。

だんだん「ちょうだい」「おしまい」など、自分の要求を言葉で表現することも出来るようになっていきます。また、「ブーブー きた」「ワンワン いた」など、二語文も話せるお子さんも出てきます。

要求をはっきり出せるようになると大人と衝突してしまう事も増えるかもしれませんが、子ども一人の立派な人格者。お子さんにはお子さんの都合があります。主張を押さえつけるのではなく、まずは気持ちを受け止めて共感してあげると、子どもの方も大人に協力しようかな、という気持ちが生まれてきます。

またこの時期は、それぞれのお子さんの個性が表れてくる時期。元気いっぱいの子にシャイな子。お調子者の子に慎重な子など、様々です。

つい他のお友達と比べて、「〇〇君はこんなに集中力があるのに、うちの子はいつも飽きっぽい」「〇〇ちゃんはこんなにハキハキ活発なのにうちの子はモジモジしてばかり」など、つい他のお友達と比べてしまいがちですが、全てその子の大事な個性！まさに「みんな違って、みんないい」のです。飽きっぽいと思われるお子さんは、色々な事に好奇心が旺盛で切り替えが早いかもしれません。大人しいと思うお子さんは、穏やかで人の話をよく聞けるお子さんかもしれません。わが子の個性を丸ごと受け止めて、プラスの側面を見てあげられたら良いですね。

この時期のお悩み

何でも「自分で！」と主張する、自我の芽生えの時期ですね。

思ったようにできないと泣いて怒ったり、ひっくり返って暴れたり。こちらも毎日向き合っているとエネルギーを使われ、大変だと感じることもあるかもしれません。しかしこれは、自分という存在を意識する自己意識が進み、自主性が芽生え始めたということ。自分でやりたいという興味や意欲はあるのに、思ったようにうまく出来なくて悔しいのですね。このような意欲や自主性は生きていく上で大切なもの。大事に育てあげたいですね。

そんな時は子どもが自分で目的を達成出来るように、出来るだけ難しいものは取り除きながら配慮してあげる、という一つの方法です。

例えば、長い靴下は自分で履きづらいので短い靴下を用意してあげたり。首周りの小さなシャツだと、なかなか頭が出せないで少し大きなサイズにする。ズボンもフォックやボタンがついているタイプの物より、ゴムタイプの物の方が着脱しやすいですね。

大人が手伝う時も勝手に手を出してしまうのではなく、「ここまでお手伝いしましょうか？」と一言許可をとってから手伝うと、子どものプライドを傷つけずに済みます。

お出かけ前など、急いでいるのに支度がスムーズに進まないというライラしてしまうこともあるかもしれません。この時期は時間に少し余裕を持つことを意識して行動出来るとう良いですね。

井上エリ

子どもの心の根っこを育むcocorone主催。アドラー心理学とモンテッソーリ教育を活かした子育て講座をオンラインで開催中。また、自身の保育士経験を活かしながら保育士向けの研修も行っている。アドラー勇気づけ講師、モンテッソーリ教師、8歳と1歳の女の子と男の子のママ。インスタグラム、ブログも更新中。



保育園がつくる
子育てサブスクリプション

STAGE10
(1歳10カ月～
1歳12カ月)

パッケージ紹介

1

ジュエルこま (デュシマ社)

直径23cmの大きなコマです。小さな子どもが身体全体を使って回すのに適した大きさで、両手で抱え込むようにしてひねって回すと、その迫力に大満足。大きなものを動かせる自分が誇らしいのでしょうね。裏側には薄く幅広いコマ芯が付いていて、安定して置いておけます。コマの表面にはアクリルのキラキラジュエルが埋め込まれています。回すとジュエルの光が動きを持って魅力的な模様を映し出します。手のコントロールで回り方が変わります。少し触るだけでもよく回るコマですが、バランスのとり方や回すスピードは成長と共に上手になります。回っているものに釘付けになることが有るのは大人も子どもも同じ。集中して見続ける中で、見ているうちに気持ちが落ち着いてくることもあるのが不思議ですね。



2

ポーン (エルフ社)

骨のようなフォルムが独創的な積み木です。多彩な積み方が出来るので大人の積み木マニアの中でも人気です。積み木の精度が高く、凸凹がはまりあう感覚は非常に心地よく大人もつい遊んでしまいます。2才頃の月齢では普通、「縦」「横」を意識した積み方をします。「斜め」の積み方は幼い子には不安定に感じるからでしょう、納得がいきません。構成あそび的な要素も大きく、机上で遊ぶと手元の操作が自分でもよく見えるので、慎重に積み上げることに集中しやすいですよ。



3

ミニドール4人組 (プラントイ社)

赤・黄・青・緑が各1体の4人組。ミニドールの胴体をひねると上半身が傾きを変えられるので、お辞儀しているような姿勢に見せたり、完全に座らせたりできる表情の出せる人形です。同じパッケージ内の「ポーン」と組み合わせて遊ぶと、色の対応も含めながら積み木の世界に自分や家族が入り込んだかのような物語が作り出せます。



4

エデュコチェーン (エデュコ社)

保育園でも評価の高いC型のチェーン。やわらかさのあるプラスチックで容易に外したりはめたりして遊べます。とはいえ、大人にとっては当たり前のはめ外しも子どもにとっては初体験。「どうして取れたの?」「どこから外れたの?」という不思議から「どうやって繋げるの?」と試行錯誤。くっきりと判別しやすい原色で、同じ色を集めたり、色分けをしたりも楽しみやすいのです。トラックの積み荷にする子もいれば、ままごとで「パブリカ」に見立ててピザを作る子も。シンプルさが想像力をかき立てます。



5

I'm green キッチンセット (ポーネルド)

フライパンやお鍋、包丁などの調理器具まで本物のようなデザインで、料理のまねっこをリアルに楽しめます。〈I'm greenシリーズ〉は従来の原油を原材料としたプラスチックとは異なり、農薬不使用で育てられたサトウキビを使って製造された「バイオプラスチック」素材でヨーロッパでは子どもが使用する遊具にも、エコロジーとエンカルの考え方が広がっています。

【あそびのヒント】
大人と同じことをしたい!と日常生活の真似をはじめると1~2歳頃の子どもは、自然とままごと遊びに興味を持ちます。ごっこ遊びはコミュニケーションを活発にし言葉の発達にもつながりますので、たくさん話しかけて言葉のやり取りを増やしましょう。



6

チェーンリングカラー (国内製造品)

ごっこ遊びにうどんやパスタなど具材にみたり、いろいろな遊びに欠かせないのがこのチェーンリングです。ご家庭でも、保育園でも長く定番として多くのお子様に親しまれているおもちゃです。つなぎ次第で、麺、ごはんなど様々な食材に見立てることが出来ます。同じパッケージのI'm green キッチンセット、エデュコチェーンなどと一緒に遊んでみてください。



絵本

おつきさまこんばんは

静かな夜の空。ネコが寝そべる屋根の上が明るくなって、しだいに金色に輝くまん丸いお月さまがでてきました。「お月さまこんばんは」。ところが、そこに黒い雲やってきて、お月さまを隠してしまいます。でも、だいじょうぶ。黒い雲は少しお月さまと話をし、また去って行きました。ふたたびあらわれたお月さま、にっこり笑顔で「こんばんは」。まるで話かけてくるようなお月さまのやさしい表情に子どもたちも思わずにっこり。



絵本

きんぎょがにげた

きんぎょが1びき、金魚鉢からにげた。どこににげた? カーテンの赤い水玉模様の中にかくれてる。おや、またにげた。こんどは鉢植えで赤い花のふり。おやおや、またにげた。キャンディのびん、盛りつけたイチゴの実の間、おもちゃのロケットの隣……。ページをめくるたびに、にげたきんぎょがどこにかくれています。子どもたちが大好きな絵探しの絵本。小さな子も指をさしながらきんぎょを探して楽しめます。



うた

わらべうた

YouTube このトイChで紹介しております。
QRコードからご確認ください。

